

2021 年度事業報告書

自 2021 年 4 月 1 日
至 2022 年 3 月 31 日

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〔I〕法人の概要

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟は、内閣総理大臣より公益社団法人への移行が正式に認定され、平成 23 年 4 月 1 日に設立登記を行った。

1. 設立年月日

公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟 (沿革)	平成 23 年 4 月 1 日
日本アマチュアダンス協会	昭和 52 年 4 月 1 日
日本ダンススポーツ連盟	平成 11 年 2 月 7 日
社団法人 日本ダンススポーツ連盟	平成 14 年 8 月 6 日

2. 定款に定める目的

この法人は、わが国におけるダンススポーツの統一組織として、ダンススポーツの振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) ダンススポーツ競技会の実施、認定及び競技規則の制定
 - (2) ダンススポーツに関する講習会等の実施及び啓発・普及活動
 - (3) ダンススポーツ競技者、指導者及び審判員の育成・助成
 - (4) ダンススポーツ競技者、指導者及び審判員等の認定、資格付与及び規則の制定
 - (5) ダンススポーツ技術に関する認定、資格付与及び規則の制定
 - (6) ダンススポーツに関するサークル、クラブ等の育成及び認定並びにダンススポーツを振興する団体の助成
 - (7) ダンススポーツに関する用具の検定、技術の研究、競技会システム及び審判システムの開発並びに供与
 - (8) 機関誌等刊行物の発行
 - (9) ダンススポーツに関する国際的競技会及び国際会議への代表者の派遣並びに海外からの選手、役員及び指導者の招聘
 - (10) 国際オリンピック委員会（IOC）に承認されたダンススポーツ国際組織に加盟してその行う事業への協力及び相互理解の促進
 - (11) 日本オリンピック委員会（JOC）等の国内スポーツ組織への加盟及びその事業への協力
 - (12) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
- その他、公益事業の推進に資するため、次の事業を行う。
- (1) ダンススポーツの用具等の販売
 - (2) その他、上記各号に関連する事業

4. 所轄官庁に関する事項

平成 23 年 4 月 1 日より 内閣府

平成 23 年 3 月 31 日まで 文部科学省 スポーツ青少年局生涯スポーツ課

5. 主たる事務所

平成 22 年 8 月 1 日より 東京都江東区有明 3-4-2

2021（令和 3）年 2 月 24 日より 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-2

6. 会員に関する事項

	(2022 年 3 月 31 日現在)	(2021 年 3 月 31 日現在)
正 会 員	96名	96名
一般会員 ^(注1)	18, 946名	21, 346名
特別会員 ^(注2)	977名 (PD466, ブレイキン 511)	891名 (PD461, ブレイキン 430)
2種の会員 ^(注3)	26名	26名
3種の会員 ^(注4)	0 名	0名
ジュニアクラブ ^(注5)	42名 (※ 180名)	63名 (※ 134名)
ユースクラブ ^(注6)	12名 (※ 95名)	16名 (※ 90名)
学連会員 ^(注7)	627名	824名
計	20, 726名	23, 262名

(注1) 都道府県連盟会員 (注2) プレミア会員とブレイキン会員 (注3) 日本サルサ協会からの会員

(注4) 3種加盟団体に登録する会員 (注5) ジュニアアスリートクラブ会員

(注6) ユースアスリートクラブ会員 (注7) 全日本学生競技ダンス連盟からの登録会員

※ 一般会員に登録されている人数

7. 加盟団体に関する事項

〈1〉都道府県のダンススポーツを統括する加盟団体(1種)

北海道ダンススポーツ連盟
青森県ダンススポーツ連盟
岩手県ダンススポーツ連盟
宮城県ダンススポーツ連盟
秋田県ダンススポーツ連盟
山形県ダンススポーツ連盟
福島県ダンススポーツ連盟
茨城県ダンススポーツ連盟
栃木県ダンススポーツ連盟
群馬県ダンススポーツ連盟
山梨県ダンススポーツ連盟
埼玉県ダンススポーツ連盟
千葉県ダンススポーツ連盟
東京都ダンススポーツ連盟
神奈川県ダンススポーツ連盟
新潟県ダンススポーツ連盟
長野県ダンススポーツ連盟
富山県ダンススポーツ連盟
石川県ダンススポーツ連盟
福井県ダンススポーツ連盟
静岡県ダンススポーツ連盟
愛知県ダンススポーツ連盟
三重県ダンススポーツ連盟
岐阜県ダンススポーツ連盟
滋賀県ダンススポーツ連盟
京都府ダンススポーツ連盟
大阪府ダンススポーツ連盟

兵庫県ダンススポーツ連盟
 奈良県ダンススポーツ連盟
 和歌山県ダンススポーツ連盟
 鳥取県ダンススポーツ連盟
 島根県ダンススポーツ連盟
 岡山県ダンススポーツ連盟
 広島県ダンススポーツ連盟
 香川県ダンススポーツ連盟
 徳島県ダンススポーツ連盟
 愛媛県ダンススポーツ連盟
 高知県ダンススポーツ連盟
 山口県ダンススポーツ連盟
 福岡県ダンススポーツ連盟
 佐賀県ダンススポーツ連盟
 長崎県ダンススポーツ連盟
 熊本県ダンススポーツ連盟
 大分県ダンススポーツ連盟
 宮崎県ダンススポーツ連盟
 鹿児島県ダンススポーツ連盟
 沖縄県ダンススポーツ連盟

＜2＞その他の加盟団体

全日本学生競技ダンス連盟（2種）
 特定非営利活動法人日本サルサ協会（2種）
 特定非営利活動法人日本車いすダンススポーツ連盟（2種）
 一般社団法人日本カントリー＆ラインダンススポーツ連盟（2種）
 未来ダンサーズ（3種）

8. 役員に関する事項

（2022年3月31日現在）

代表理事・会長 (注1)	布村 幸彦	東京オリンピック組織委員会副事務総長 元文部科学省スポーツ・青少年局長
理事・副会長	市原 則之	一般社団法人日本トップリーグ連携機構専務理事、 元公益財団法人日本オリンピック委員会 副会長・専務理事
理 事	大塚 眞一郎	トライアスロン連合専務理事、 国際トライアスロン連合副会長
理 事	岡崎 朋美	元スピードスケートメダリスト・日本選手団旗手
理 事	栗栖 太	東京大学准教授、全日本学生競技ダンス連盟会長
業務執行理事	山田 淳	専務理事
業務執行理事	金子 和裕	常務理事、事務局長、北海道ブロック運営委員長、 財務委員会委員長、静岡県ダンススポーツ連盟会長
業務執行理事	中道 俊之	事務局運営担当、普及本部長、組織変革委員会委員長、 資格試験制度委員会担当、 岩手県ダンススポーツ連盟会長
業務執行理事	山口 剛	競技本部長
業務執行理事	鵜崎 清貴	国際本部長、倫理委員会委員長、

			世界ダンススポーツ連盟（WDSF）財務エグゼクティブ 大分県ダンススポーツ連盟会長
業務執行理事	秋田 幸子		エンターテイメント本部長、マーケティング部長
業務執行理事	佐倉 文彦		アスリート委員会委員長、情報システム本部長、 新審判基準委員会委員長
業務執行理事	水本 泰弘		選手強化本部長
業務執行理事	石川 勝之		ブレイクダンス本部長、WDSF ブレイキン・アドバイザー、 一般社団法人アーバンスポーツ大会組織委員会理事
業務執行理事	渡辺 裕美		PD 事業本部副本部長、マネジメント部長
業務執行理事	篠田 龍佑		関東甲信越 PD ブロック運営委員会委員長、 東京都ダンススポーツ連盟会長
業務執行理事	岡田 大輔		PD 管理本部副本部長、西部 PD ブロック運営委員会 委員長
業務執行理事	吉川 英司		PD 管理本部副本部長
業務執行理事	渡邊 将広		JOC ナショナルコーチ、ブレイキン選手強化部長、 マーケティング本部長
業務執行理事	福島 梨絵		ブレイキン審判部長、 京都府ダンススポーツ連盟ブレイクダンス部長
業務執行理事	太田 吏圭子		アスリート委員会
監事	鈴木 一夫	公認会計士	
監事	竹島 弘幸	神奈川県ダンススポーツ連盟相談役	
監事	武永 実花	NPO 法人日本サルサ協会理事長	

（注1） 本連盟の代表理事

【名 誉 役 員】

名 誉 会 長	齊藤斗志二	元会長、元防衛庁長官
顧 問	舘 博	東京農業大学名誉教授
顧 問	太田 順康	北辰商事株式会社代表取締役社長
顧 問	太田 正治	スポーツイベント研究所所長、元株式会社電通
顧 問	八木沼純子	元オリンピック・フィギュアスケート日本代表選手
特 任 顧 問	居樹 保朗	資格認定委員会担当
特 任 顧 問	松山 光男	エンターテイメント本部担当
特 任 顧 問	渡辺 英美	マーケティング本部担当
特 任 顧 問	永井 彰	国体推進担当

9. 会賓に関する事項

（2022 年 3 月 31 日現在）

名 誉 会 賓	山口 繁雄	最高顧問、日本アマチュアダンス協会会長
名 誉 会 賓	小野 清子	名誉会長、国家公安委員長、 オリンピック体操メダリスト
名 誉 会 賓	田邊 重光	副会長、公益財団法人日本ボールルームダンス連盟会長
名 誉 会 賓	太田 実	ロチャーズ/北辰商事株式会社取締役社長
会 賓	中井眞一郎	前会長、弁護士、元所沢市長、所沢市名誉市民

〔II〕2021 年度事業報告

〔総括〕

定時社員総会（6/27）での役員改選により理事の若返りと女性新理事 4 名の登用を行った。20 年在職の齊藤斗志二代表理事・会長の辞意を受け、同日の理事会において中井眞一郎代表理事・会長を選任（短期間を条件に受任）し、臨時理事会（1/30）、臨時社員総会（2/20）、理事会（3/20）の審議により布村幸彦代表理事・会長の選任を行った。

新型コロナウイルス感染防止を最優先に、Web にて業務執行理事会を毎月開催し、理事会と総会は Web と会場のハイブリッド型で開催した。また全国加盟団体代表者会議を Web にて 2 回（6/20、2/20）開催して、コロナ禍の異常事態における目標共有など意思疎通を図った。

各部門の活動におけるコスト削減を徹底し、助成金、補助金も活用して 2 年間続いた赤字から黒字に転換することができた。

特筆すべき重点内容について以下の通り総括する。

1. コロナ禍における活動の維持

- （1）新型コロナウイルス安全対策を駆使し、重要な競技会を原則無観客で実施
- （2）全ての部会、委員会、研修会などのオンラインによる継続と徹底したコスト削減

2. ダンススポーツのオリンピック準備と強化活動（ブレイキン）

- （1）10 名のブレイキン特別強化選手を指定して強化開始
- （2）世界ブレイキン選手権（12/24 パリ）にて女子：金・銀メダル、男子：10 位、16 位
- （3）全日本ブレイキン選手権を NHK 杯として無観客にて実施（YouTube 配信）
- （4）全日本予選としての 6 ブロック選手権を無観客にて実施（YouTube 配信）
- （5）東京 2020 への協力（スポーツプレゼンテーション、閉会式など）
- （6）ブレイキン審判システムの普及・教育など

3. 国体参加等を目指す活動

- （1）都道府県連盟の組織強化支援
大分県、広島県、高知県の加盟により全都道府県連盟のスポーツ協会加盟を完了
- （2）全国の都道府県連盟へのブレイクダンス部の設置活動
- （3）日本スポーツマスターズ 2021 岡山大会記念事業へのダンススポーツの参加

4. 競技会の新たな価値提供（スタンダード、ラテン）

- （1）（ワクチン証明・検査証明など）コロナ安全対策を徹底することで三笠宮杯を観客 50% 未満に制限して開催。全国への YouTube 配信と SNS 展開の高度化による新たな普及施策の検討
- （2）PD による一般競技会等においても YouTube 配信による新たなサービス実験
- （3）オンライン競技会の実証実験の継続

5. DX に向けた取組み

- （1）選手会員のマイページ機能、電子会員証等の運用開始
- （2）総合情報システムのリニューアルなど

その他、実施可能な定常業務を行った。

[公益目的事業1] ダンススポーツの競技会、講習会等を開催し、競技者、指導者の育成及びダンススポーツ愛好者の拡大に努め、もって国民の心身の健全な発達に寄与する事業

1 競技会

当連盟主催の競技会を次のとおり開催した。

(1) 第24回東京オープンダンススポーツ選手権

(新型コロナウイルス感染防止のため中止)

(2) 第41回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

開催日 2021(令和3)年11月6日(土)7日(日)

開催場所 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

競技 三笠宮杯全日本選手権・スタンダード

三笠宮杯全日本選手権・ラテン

JOCジュニアオリンピックカップ・全日本選手権ジュニア(St・La)

全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル(St・La)

全日本ダンススポーツ選手権 PD (St・La)

出場組数 延 379 組

放映 YouTube

(3) 第28回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会 in 三重

開催日 2021(令和3)年11月14日(日)

開催場所 サオリーナ

競技 都道府県対抗団体戦 ほか

(新型コロナウイルス感染防止のため中止)

(4) 第16回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ 2021

2021年8月28(土曜日)29日(日)とどろきアリーナサブアリーナに於いて開催に向け努力したが、新型コロナウイルスの感染状況により開催を断念した。

(5) 全日本選手権10ダンス

開催日 2021(令和3)年6月13日(日)

開催場所 名古屋市千種スポーツセンター

競技 全日本選手権10ダンス ほか

(6) ダンススポーツグランプリ in 大阪

開催日 2021(令和3)年5月16日(日)

開催場所 不死王閣グリーンホール

競技 グランプリスタンダード、PDGカップラテン

WDSF世界戦選考シニアI・ラテン

WDSF世界戦選考ジュニア(St・La) ほか

(7) ダンススポーツグランプリ in 熊本

開催日 2021(令和3)年10月3日(日) [当初の4月開催から2度変更]

開催場所 ウイングまつばせ

競技 グランプリラテン

WDSF世界戦選考シニアIスタンダード ほか

(8) ダンススポーツグランプリ in 静岡

開催日 2021 (令和3) 年 8 月 1 日 (日)
開催場所 浜松アリーナ／サブアリーナ
競技 グランプリスタンダード、PDG カップラテン
WDSF 世界戦選考ユース(St・La)
WDSF 世界戦選考ジュニア 10 ダンス ほか

(9) ダンススポーツグランプリ in 仙台

開催日 2021 (令和3) 年 9 月 12 日 (日)
開催場所 仙台市青葉体育館
競技 グランプリラテン、PDG カップスタンダード
WDSF 世界戦選考シニア I ・スタンダード
WDSF 世界戦選考ユース(St・La) ほか
(新型コロナウイルス感染防止のため中止)

(10) ダンススポーツグランプリ in 北海道

開催日 2021 (令和3) 年 9 月 26 日 (日)
開催場所 北海きたえーる
競技 グランプリスタンダード、PDG カップラテン
WDSF 世界戦選考シニア I ・ラテン ほか

(11) 日本スポーツマスターズ 2021 岡山大会記念事業

開催日 2021 (令和3) 年 8 月 8 日 (日)
開催場所 ジップアリーナ岡山
競技 マスターズ I ・ II ・ III ・ IV(各 St・La) ・ V(St)ほか

(12) JDSF BREAKING ブロック選手権 中部北陸ブロック

開催日 2021 年 (令和3) 9 月 12 日 (日)
開催場所 スタジオサンライト
競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー
・ジュニアカテゴリー

(13) JDSF BREAKING ブロック選手権 関西ブロック

開催日 2021 年 (令和3) 9 月 18 日 (土)
開催場所 藤井寺市立市民総合会館(パープルホール)
競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー
・ジュニアカテゴリー

(14) JDSF BREAKING ブロック選手権 関東甲信越ブロック

開催日 2021 年 (令和3) 9 月 19 日 (日)
開催場所 カルッツ川崎
競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー
・ジュニアカテゴリー

(15) JDSF BREAKING ブロック選手権 中国四国ブロック

開催日 2021 年 (令和3) 9 月 23 日 (木・祝)
開催場所 岡山国際交流センター
競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー

・ジュニアカテゴリー

(16) JDSF BREAKING ブロック選手権 九州沖縄ブロック

開催日 2021年(令和3)10月2日(土)

開催場所 福岡市総合体育館

競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー
・ジュニアカテゴリー

(17) JDSF BREAKING ブロック選手権 北海道東北ブロック

開催日 2021年(令和3)10月17日(日)

開催場所 宮城野体育館(元気フィールド仙台)

競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー
・ジュニアカテゴリー

(18) 第3回全日本ブレイキン選手権大会 (NHK 杯)

開催日 2022年(令和4)1月22日(土)・23日(日)

開催場所 渋谷ストリームホール

競技 ブレイキン 1on1 オープンカテゴリー・ユースカテゴリー
・ジュニアカテゴリー

2 競技会の公認、承認及びエントリー組数

競技会の公認・承認及びエントリー組数は次のとおり(2021年1月～12月)。

公認・承認競技会 167件(内中止63件) エントリー 20,456組

3 プレミア・ディビジョン(PD) 関連部門の活動

(1) PD部門の整理統合と内部事業の活性化

(2) 2021年度(令和3年度)のPD登録者数は440名

うち、PD登録選手数は170名(2020年10月31日最終集計)

(3) PD公認競技規程に従い、PD公認ランキングポイント競技会及びPD公認ブロックランキング競技会を計16回開催した。(うちPDブロック独自開催2回)
コロナ禍により中止になった、ジュニア、ユース競技会代表選抜競技会の代替開催を2回行った。

(4) WDSF-PD世界選手権スタンダード、ラテンに各1カップルずつ代表派遣した。

(5) WDSF教本に準拠したPD資格取得のための資格試験制度の構築

(6) PD開催の各種講習会・研修会のPD公認講師の講習及び認定制度の構築

(7) PD資格試験及びPD資格試験講習会を担当するPD公認試験員認定制度の構築

(8) ダンスステージの審査を担当するPD公認検定員認定制度の構築

4 講習会研修会

(1) 指導員

・公認指導員研修会(特例措置)、新規指導員養成講習会6回、選考試験実施6回、昇級講習会1回、昇級試験1回開催した。

・第33回全国ダンススポーツコンGRESS Web配信で開催した。101名

・第34回全国ダンススポーツコンGRESS コロナ対応により中止

(2) ジュニア指導員

・ジュニア指導員研修会を2022年2月27日にオンラインで開催した。

(3) 審判員

- ・公認研修会 1 回、承認研修会 11 回開催した。
 - ・絶対評価審判基準に関する研修会 1 回開催した。
 - ・新規審判員認定委員会 1 回開催
 - ・WDSF 審判員海外派遣員数 0 大会 (0 名)
- (4) チェアパーソン (競技長)
- ・公認講習会 2 回、公認研修会 1 5 回開催した。
- (5) スクルティニア (採点管理者)
- ・公認講習会 2 回、公認研修会 1 3 回開催した。
- (6) 技術認定
- ・ブロック、都道府県連盟主催のもと、グレードコース 16 回、ハイグレードコース 12 回開催
 - ・本部主管のもと、A 級技術認定員試験 2 回、ドリームステージ 5 回開催
- (7) 選手強化
- ・国内強化合宿を 2/11～13 の 3 日間鹿島セントラルホテルで開催し、選手講師スタッフ計 108 名が参加した
 - ・海外コーチによる特別練習会を 2/17～3/18 にオンラインで 13 回開催し、選手スタッフ 43 名が参加した
 - ・強化練習会を 10/10 に池袋のアカデミーで開催し 39 名が参加した
 - ・パフォーマンストレーニングを毎週火曜・水曜の夜に各 2 時間実施した
 - ・ブレイキン国内強化合宿を 8 月に沖縄で 4 日間開催し全強化選手が参加した。

5 資格付与

(1) 競技選手 (2021 年 8 月 15 日現在)

(単位=人)

区 分	スタンダード	ラテン
A 級	2,060	718
B 級	2,609	1,408
C 級	2,423	1,343
D 級	1,361	1,108
1 級	319	344
2 級	440	1,238
3 級	88	210
無 級	2,712	5,643
計	12,012	12,012

シニア系

区 分	スタンダード	ラテン
シニア I A 級	6	11
シニア I B 級	11	2
シニア I C 級	14	5
シニア I D 級	0	0
シニア II A 級	1,708	456
シニア II B 級	425	201
シニア II C 級	120	67
シニア II D 級	587	404

シニアⅢA級	1,696	501
シニアⅢB級	696	259
シニアⅢC級	276	96
シニアⅢD級	732	449
シニアⅣA級	569	99
シニアⅣB級	251	27
シニアⅣC級	134	6
シニアⅣD級	44	0
計	7,269	2,583

(2) 公認指導員 (2022年3月末現在)

(単位=人)

区 分	競 技 力	普 及
A 級	269	35
B 級	1,152	208
C 級	632	733
計	2,053	976

甲種特定指導員	1,059
---------	-------

(参考) (公財)日本スポーツ協会認定ダンススポーツ指導者

区 分	コーチ 3	コーチ 1
	128	187

(3) 公認審判員(2022年3月末現在) GD178名+PD187名

(4) ジュニア指導員、ジュニア認定サークル、ジュニア会員、ジュニアアスリートクラブ会員、ユースアスリートクラブ会員 (2022年3月末現在)

ジュニア指導員	362名 (内PD44名)
ジュニア認定サークル	59サークル
ジュニア会員	613名
ジュニアアスリートクラブ会員	180名
ユースアスリートクラブ会員	95名

(5) チェアパーソン (競技長) (2022年3月末現在)

資格者	432名
-----	------

(6) スクルティニア (採点管理者) (2022年3月末現在)

資格者	283名
-----	------

(7) 技術認定員 (2022年3月末現在)

A 級	161名	B 級	604名
-----	------	-----	------

6 国際関連

(1) WDSF、DSA 事業への協力

(2) WDSF、DSA 等国際大会への選手派遣は、両連盟の大会中止に伴い中止した

(3) 国内事業における海外関係への担当、協力、助言

7 アンチ・ドーピング

- (1) 選手会員へのアンチ・ドーピング広報啓蒙活動
- (2) 競技支援要員へのアンチ・ドーピング広報啓蒙活動

8 審判基準の更なる改善

ダンススポーツグランプリおよび三笠宮杯において、引き続き絶対評価審判基準 AJS3.0Jでの採点を実施した。

審判基準についても引き続き、審判員研修会等での教育を実施し基準の明確化を実施した。また、各グランプリ終了後には審判員のレビュー会議を実施し、審判基準のばらつきの排除と客観化を推進した。

また、ブレイキンの絶対評価審判方式を策定し、各ブロック大会及び、「全日本ブレイキン選手権」においても絶対評価審判方式での採点を実施した。

9 ジュニア・ユースアスリートクラブ

世界を目指すジュニア、ユースの競技力向上と会員同士の交流を図り、優れた人格形成を目指すアスリートクラブの活動を引き続き行った。

現在会員数 ジュニア 180 名 ユース 95 名 合計 275 名

10 ブレイクダンス振興活動

去年と同様に、コロナ禍によりフィジカルでのイベント開催が困難であった為、フィジカルとオンラインのハイブリッド形式で競技会及び、コミュニティイベントを開催した。

- (1) ブロック選手権開催・オンライン配信
- (2) 第3回全日本ブレイキン選手権 開催・オンライン配信
- (3) 国際女性デーでの女性ダンサー向けオンラインコンテンツ開催

11 公益目的事業への支援要請（マーケティング）活動

- (1) 年間オフィシャル・パートナー契約（スタンダード／ラテン部門）
 - ・株式会社ブルボン
 - ・養命酒製造株式会社
 - ・北辰商事株式会社（ロジャース）
- (2) 年間オフィシャル・パートナー契約（ブレイクダンス部門）
 - ・株式会社ベイエフエム
 - ・ソニーExperia
 - ・株式会社コーセー
 - ・東急不動産ホールディングス株式会社
 - ・ナイキジャパン
- (3) その他新規スポンサー獲得努力
- (4) その他メディアパートナー獲得および露出獲得努力

12 広報活動

- (1) 広報誌「ダンスダンスダンス」の発刊（年4回）
- (2) JDSF ホームページ、Facebook、ツイッター等による周知活動
- (3) マスコミへの働きかけ（毎日新聞社、TBS、フジテレビ等）

独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成事業 2021 年度実施状況

● くじ助成

事業名	実施結果	助成金確定額	助成金の使途
第 16 回オールジャパンジュニア・ダンススポーツカップ 2021in 川崎 (於：とどろきアリーナ)	新型コロナウイルス感染症拡大のため、やむなく中止した。	40,000	・背番号作成料 ・賞状筆耕料 ・その他
ドーピング検査推進事業	ブレイキン全日本選手権において実施したドーピング検査に Nf.rep を派遣した。	9,000	・ Nf.rep に対する謝金と交通費
広 報 誌 (Dance Dance Dance) 発行	春夏秋冬の 4 回の広報誌を遅延なく発行することができ、当連盟の運営状況や幅広い会員の活動を全国の会員等へ発信することができた。	6,674,000	・ 広報誌の印刷費 ・ 広報誌の梱包、発送 ・ 取材のための旅費
日本スポーツマスターズ 2021 岡山大会記念事業ダンススポーツ競技大会	年齢 30 歳以上の選手を対象に 年代別 5 区分を実施した。 このうち、区分Ⅱ、Ⅳ、Ⅴについては、世界ダンススポーツ連盟シニア大会の日本代表選考会とした。	1,167,000	・ 審判員、実行委員への謝金及び交通費 ・ 会場借用料 ・ 大会プログラムの作成 ・ 競技用背番号 ・ その他
小 計		7,890,000	

● 基金助成

第 3 回全日本ブレキン選手権	WDSF 公認のワールドオープン・スタンダード／ラテンと PD スーパーグランプリ・スタンダード及び U-23 スタンダード／ラテンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	6,000,000	・ 会場設営準備費用 ・ チラシ・ポスター制作代 ・ 音楽 CD 制作代 ・ メダル、トロフィー代 ・ 海外審判員旅費キャンセル料
小 計		6,000,000	

●競技力向上助成

選手強化 NF 事業		23,789,000	・ 選手強化活動 ・ コーチ力強化 ・ 次世代アスリート育成 ・ 感染症対策 ・ 新しい生活での選手強化活動
小 計		23,789,000	

●全体

合 計		37,679,000	
-----	--	------------	--

[収益目的事業1] ダンススポーツに関する物品を企画及び販売する事業

- 1 ダンススポーツ教本、教本 DVD、CD、DVD、オリジナルグッズ等の制作及び販売
 - (1) WDSF 教本の日本語翻訳版「ダンススポーツ教本」(ワルツ、タンゴ、スロー・フォックス、クイックステップ、ヴィエニーズ・ワルツ、ルンバ、チャチャチャ、サンバ、パソ・ドブレ、ジャイブ)を販売
 - (2) 「ダンススポーツ教本」に準拠した教本 DVD (ワルツ、タンゴ、スロー・フォックス、クイックステップ、ヴィエニーズ・ワルツ、ルンバ、チャチャチャ、サンバ、パソ・ドブレ、ジャイブ)を販売
 - (3) 「ダンススポーツ教本」に準拠したドリームステージDVD (ワルツ／サンバ、タンゴ／パソ・ドブレ、スロー・フォックス／チャチャチャ、クイックステップ／ルンバ)を販売
 - (4) オランダ及びドイツ業者と提携して音楽 CD の制作販売
Vol.27、Vol.28 の制作と発売開始
 - (5) 各種オリジナルグッズを販売
オリジナルマスクを開発販売